



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 日新商事株式会社

コード番号 7490 URL <http://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 走尾 一隆

TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	50,078	△0.0	106	△43.4	289	△22.9	124	4.1
24年3月期第3四半期	50,081	7.1	188	25.8	375	22.1	119	1.8

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 83百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △148百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	18.44	—
24年3月期第3四半期	17.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	24,602	15,912	64.7	2,365.56
24年3月期	24,964	15,949	63.9	2,371.11

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 15,912百万円 24年3月期 15,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	2.3	280	3.6	450	△4.6	240	55.4	35.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	7,600,000 株	24年3月期	7,600,000 株
25年3月期3Q	873,392 株	24年3月期	873,392 株
25年3月期3Q	6,726,608 株	24年3月期3Q	6,726,651 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要による下支えが続いたものの、欧州債務危機などによる海外経済の減速や長期化した円高を背景とする景気下振れリスクを抱えた不透明な状況で推移いたしました。

石油製品販売業界におきましては、国内石油製品価格は、期初は下降傾向にありましたが、期中には中東情勢の緊迫化などにより続伸した原油市況と連動して上昇へ転じ、以降は前年よりも高い水準で推移いたしました。また、国内石油製品需要につきましては、高稼働が継続している火力発電所向け重油の需要が高まったことなどにより、燃料油販売数量は前年同期と比較して増加いたしました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の当社グループ連結業績は、直営及び直需部門でガソリンと灯油の販売数量増加、外食事業で前年度に譲受したケンタッキーフライドチキン店の売上が収益に寄与いたしました。しかしながら、卸部門で燃料油の販売数量が減少したことなどにより、売上高は50,078,000千円、前年同期比0.0%の微減となりました。また、直営部門において仕入価格に即応した価格転嫁が出来ず、燃料油マージンが押し下げられましたが、前年度に譲受したケンタッキーフライドチキン店の収益が寄与したことなどにより売上総利益は増加いたしました。一方で、同店舗の譲受や本社移転に伴う販売費及び一般管理費は増加いたしました。その結果、営業利益は106,685千円、前年同期比43.4%の減益、経常利益は289,407千円、前年同期比22.9%の減益となりました。一方、受取賠償金が特別利益に計上されたことなどにより、四半期純利益は124,025千円、前年同期比4.1%の増益となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次の通りであります。

<石油関連事業>

(直営部門)

直営部門につきましては、カーコーティング洗車、車検などのカーメンテ商品拡販に注力いたしました。また、前年度までに新設、改装したSS（サービスステーション）が堅調に推移したことや燃料油販売体制の強化により販売数量が増加したため、売上高は17,463,399千円、前年同期比3.7%の増収となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、消防法改正に伴う地下貯蔵タンク規制強化の影響で一部販売店の運営するSSが閉鎖したことなどにより、燃料油の販売数量が減少したため、売上高は9,939,545千円、前年同期比7.0%の減収となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、法人向け燃料油カードの発券活動強化や、冬季の気温低下による灯油需要増加に対応した積極的な営業活動を行い、ガソリンと灯油の販売数量が増加いたしました。しかしながら、商流変更による物流企業向け軽油の販売数量減少や、震災以降高まっていた火力発電所向け重油の需要が一巡したことなどにより、売上高は16,912,509千円、前年同期比0.0%の微減となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、石油化学製品は、需要低迷に伴い厳しい状況にありましたが、新規顧客の開拓や震災影響を受けた前年に比べて原料の供給が復調したことなどにより、売上高は増加いたしました。一方、ペットボトル飲料は、前年度から発生していた震災特需向けの供給が一段落したことなどにより、販売数量は減少いたしました。その結果、売上高は3,135,790千円、前年同期比0.0%の微減となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、液化石油ガス販売は、省エネ設備への切り替えも含めた提案や営業活動を展開いたしました。しかしながら、販売競争の激化などにより液化石油ガスの販売数量は減少いたしました。その結果、売上高は1,444,416千円、前年同期比3.0%の減収となりました。

<外食事業>

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店は、前年度に譲受した3店舗の収益が寄与したことなどにより、売上高は増加いたしました。一方、タリーズコーヒー店は、消費者マインドの停滞が継続し、来客数の減少などにより売上高は減少いたしました。その結果、売上高は778,285千円、前年同期比31.2%の増収となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、既存物件の稼働率が低下したことなどにより、売上高は404,053千円、前年同期比0.6%の減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産

(総資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ、362,154千円減少し、24,602,513千円となりました。これは、差入保証金が50,276千円増加したものの、受取手形及び売掛金が235,157千円、繰延税金資産が78,192千円、前払年金費用が67,661千円減少し、現金及び預金が23,843千円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ、324,809千円減少し、8,690,346千円となりました。これは、借入金で202,500千円増加したものの、未払法人税等が211,843千円、社債が137,000千円、賞与引当金が113,509千円減少し、預り保証金が73,602千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ、37,345千円減少し、15,912,167千円となりました。これは、おもにその他有価証券評価差額金が42,437千円減少したことなどによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ5.55円減少し、2,365.56円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、経済情勢や石油製品価格の動向が不透明なこともあり、現段階では、平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更いたしません。なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在で入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

影響額の僅少なものについて、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,812千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,373,478	1,349,634
受取手形及び売掛金	9,763,465	9,528,308
商品及び製品	596,035	565,510
その他	362,526	269,364
貸倒引当金	△27,936	△8,011
流動資産合計	12,067,570	11,704,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,835,457	2,839,140
土地	5,384,137	5,384,137
その他（純額）	318,304	316,083
有形固定資産合計	8,537,900	8,539,361
無形固定資産		
投資その他の資産	306,671	281,664
投資有価証券	2,362,050	2,455,936
関係会社株式	933,215	891,167
その他	819,639	792,605
貸倒引当金	△62,379	△63,029
投資その他の資産合計	4,052,525	4,076,680
固定資産合計	12,897,097	12,897,707
資産合計	24,964,668	24,602,513
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,871,572	3,939,227
短期借入金	645,000	615,000
未払金	638,624	603,628
未払法人税等	211,843	—
賞与引当金	224,022	110,513
役員賞与引当金	15,148	11,300
固定資産撤去費用引当金	8,980	—
資産除去債務	9,431	—
その他	632,705	434,205
流動負債合計	6,257,327	5,713,875
固定負債		
社債	732,000	815,000
長期借入金	67,500	300,000
退職給付引当金	966,829	939,222
役員退職慰労引当金	49,226	36,403
資産除去債務	67,707	78,801
その他	874,564	807,044
固定負債合計	2,757,828	2,976,471
負債合計	9,015,155	8,690,346

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,365,724	9,368,670
自己株式	△643,357	△643,357
株主資本合計	15,627,991	15,630,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337,056	294,618
為替換算調整勘定	△15,535	△13,389
その他の包括利益累計額合計	321,521	281,228
純資産合計	15,949,512	15,912,167
負債純資産合計	24,964,668	24,602,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	50,081,136	50,078,000
売上原価	45,390,784	45,360,730
売上総利益	4,690,352	4,717,269
販売費及び一般管理費	4,501,804	4,610,583
営業利益	188,548	106,685
営業外収益		
受取利息	2,042	2,270
受取配当金	83,987	84,535
持分法による投資利益	8,457	6,345
その他	138,721	129,108
営業外収益合計	233,208	222,260
営業外費用		
支払利息	25,598	20,984
社葬費用	9,850	—
その他	10,973	18,553
営業外費用合計	46,422	39,537
経常利益	375,334	289,407
特別利益		
損害賠償金	—	24,007
特別利益合計	—	24,007
特別損失		
減損損失	22,327	28,989
投資有価証券評価損	16,039	—
その他	8,219	6,237
特別損失合計	46,586	35,226
税金等調整前四半期純利益	328,747	278,188
法人税、住民税及び事業税	142,876	52,884
法人税等調整額	66,758	101,277
法人税等合計	209,634	154,162
少数株主損益調整前四半期純利益	119,113	124,025
四半期純利益	119,113	124,025

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	119,113	124,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255,490	△41,687
為替換算調整勘定	△11,083	2,145
持分法適用会社に対する持分相当額	△572	△749
その他の包括利益合計	△267,146	△40,292
四半期包括利益	△148,033	83,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148,033	83,733
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,081,342	593,387	406,406	50,081,136	—	50,081,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	48,554	48,554	△48,554	—
計	49,081,342	593,387	454,961	50,129,691	△48,554	50,081,136
セグメント利益又は損失(△)	257,946	△26,387	234,960	466,519	△277,971	188,548

(注) 1. セグメント利益の調整額△277,971千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで14,896千円、「外食事業」セグメントで4,840千円、「不動産事業」セグメントで2,591千円を当該減損損失にそれぞれ計上しております。

(のれんの金額の重要な変更)

「外食事業」セグメントにおいて、東横コミュニティー株式会社が運営しておりました横須賀地区のケンタッキーフライドチキン店3店舗の事業を譲り受けることになり、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において137,888千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,895,661	778,285	404,053	50,078,000	—	50,078,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	41,812	41,812	△41,812	—
計	48,895,661	778,285	445,865	50,119,812	△41,812	50,078,000
セグメント利益又は損失(△)	215,835	△50,128	253,083	418,790	△312,105	106,685

(注) 1. セグメント利益の調整額△312,105千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「石油関連事業」セグメント及び「外食事業」セグメントにおいて、販売マージンの悪化等による事業環境の激変により、継続して損益がマイナスであることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において「石油関連事業」セグメントで16,171千円、「外食事業」セグメントで12,817千円を当該減損損失にそれぞれ計上しております。